

院 生 留 意 事 項

1. 授業科目の履修方法について

- (1) 授業科目は開講科目表のとおりです。専攻共通のエンジニアリングコミュニケーション（1単位）、工学マネジメントワーク（1単位）、及びコース必修科目（2単位）、特別セミナー（2単位）、特別研究Ⅰ、Ⅱ（10単位）の計16単位を必修とし、必修以外の専攻共通科目、農工連携科目、コース選択科目の中から14単位以上、計30単位以上を取得しなければなりません。なお、コース選択科目から、所属コースの科目を最低4単位取得する必要があります。

履修計画及び研究計画にあたっては、指導教員、授業担当教員及び教務委員の指示を受けてください。

履修手続方法については受講科目登録期間等を別途案内しますので、指示された期日までに手続きを行ってください。受講科目登録は、前学期の科目登録期間に前学期・後学期・通年分を一括して登録してください。原則として、前学期の科目登録確認・修正期間以外は、追加・削除は認められません。登録漏れのないように十分注意し、計画的に履修登録をしてください。但し、年度途中で新規に開講された科目の追加登録など、修正が認められる場合があります。詳細は教務・学生支援係に相談してください。

- (2) 外国の大学院での授業科目等の履修

本研究科に在学中に外国の大学院に留学して取得した単位を本研究科修了に必要な単位の一部等に認定する規程を本学大学院工学研究科規程第10条に定めています。詳細については、教務・学生支援係に照会してください。

- (3) クォーター制について

本学では、「2学期制（前学期・後学期）」により講義を実施していますが、留学やボランティア活動といった学生諸君の自主的な学習体験の促進や、授業を短期間で集中的に受講することによる教育効果の向上を期待し、従来の「2学期制」の授業科目に加え、「クォーター制」の授業科目を一部導入しています。

クォーター制の学年暦及び授業日程は、大学HP等でご確認ください。

なお、履修案内では、第1期・第2期を前学期、第3期・第4期を後学期とします。

2. シラバスについて

各授業科目の簡略な内容はこの履修案内に記載されていますが、詳細なシラバスを宮崎大学学務情報システム「わかば」から閲覧できますので、ご利用ください。

URLはこちら→<https://wakaba.of.miyazaki-u.ac.jp/campusweb/top.do>

3. 成績評価について

各授業科目の成績は試験やレポート等により評価します。標準成績評価基準は下記の評語と評点により、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とします。なお、講義科目については、所定時間数の75%以上出席しなければ成績評価を受けられません。

- 秀：評点90点以上（到達目標を特に優秀な水準で達成している）
優：評点89～80点（到達目標を優秀な水準で達成している）
良：評点79～70点（到達目標を良好に達成している）
可：評点69～60点（到達目標の必要最低限は達成している）
不可：評点60点未満（到達目標の必要最低限を達成していない）

4. 特別欠席について

次の理由により欠席した場合は、所定の特別欠席願いを欠席事由解消後1週間以内に教務・学生支援係に提出し、欠席する授業の担当教員に特別欠席を願い出ることができます。原則として、授業担当教員は欠席の補填措置を行い、特別欠席を欠席数に加算しないものとします。

- (1) 忌引
父母及び配偶者にあつては7日、子にあつては5日、祖父母及び兄弟姉妹にあつては3日とする。
- (2) 天災
必要と認める日・時間
- (3) 学校保健安全法に定める感染症に該当するとき
医師の証明に基づく治療に必要な期間。ただし、4週間以上の長期にわたる場合を除く。
- (4) 本学の授業に伴う実習等に参加するとき
- (5) 大学で主催する文化及び体育等の課外活動で、主催大学の副学長等から正式の派遣依頼があり副学長（教育・学生担当）が認めたとき、又は大学以外の団体等が主催するもので学長が認めたとき。ただし、期間及び回数については制限する場合がある。
- (6) その他やむを得ない事情があると教務委員会が認めたとき
(宮崎大学工学部専門科目履修規程第3条に準ずる)

5. 修了要件について

修士課程の修了要件は、必修科目を含む30単位です。修了要件は、本学学務規則第76条および本学大学院工学研究科規程第10条に定めていますのでご参照ください。科目によっては修了要件に該当しない場合もありますので、履修案内をよく読んでください。

6. 学位の申請について

本研究科に所定の期間在学して学位を申請しようとする者は、指導教員の承認を得たうえで、本研究科委員会の定める期日までに下記書類を取り揃え、教務・学生支援係に提出してください。また、学位申請については巻末の「宮崎大学大学院工学研究科修士課程学位論文審査並びに最終試験実施要項」に定めていますのでご参照ください。

- ・学位論文審査申請書（1部）
- ・学位論文（1部）

7. 修士論文の合否判定基準

工学研究科修士課程における修士論文の合否判定基準は、下記の項目です。

1. 研究の背景と位置付けが明確であること。
2. 研究の目的が明確であること。

3. 研究方法が適切に述べられていること。
4. 研究結果の解釈およびそれらから結論を導く過程が明確であること。
5. 修士論文としての体裁や形式が整っており、文献が適切に引用されていること。

8. 授業料について

授業料は本学学務規則の定めるところにより、所定の期日までに納付しなければなりません。詳しくは宮崎大学のホームページ(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fees/jugyou/index.html>)をご覧ください。なお、授業料免除等の申請手続きについては、掲示をもって通知しますので注意してください。

9. 奨学金について

本学では、日本学生支援機構奨学金を始め、地方公共団体及び各種奨学金団体の奨学金を取り扱っております。詳しくは学び・学生支援機構学生支援課へ問い合わせるか、または、宮崎大学学び・学生支援機構のホームページ(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/scholarship/>)をご覧ください。

大学院修士課程（令和5年度の実績）※日本学生支援機構

第一種 50,000 円, 88,000 円 の中から選択

第二種 50,000 円, 80,000 円, 100,000 円, 130,000 円, 150,000 円 の中から選択

10. 学生教育研究災害傷害保険(学研災)・学研災付帯賠償責任保険(学研賠)について

この保険は、学生の互助共済制度として、大学に在学する学生が正課中に被った種々の災害、または学校行事中、通学中、課外活動中及び学校施設内にいる間に被った災害を、救済するために設けられた補償制度です。大学院生は研究活動に携わりますので全員加入してください。また、加入手続きについては入学資料をご確認ください。

- ・学生教育研究災害傷害保険（学研災）保険料 2年間分 1,750 円
- ・学研災付帯賠償責任保険（学研賠）保険料 2年間分 680 円

11. 諸願届等の手続について

- (1) 入学時またはその後に届け出ている住所や電話番号、氏名、保証人等に変更が生じた場合は、教務・学生支援係に通知してください。
- (2) 休学・退学・復学等をするときは、所定の様式の用紙を教務・学生支援係から受け取り指導教員に申し出てください。
- (3) 学割、在学証明書、修了見込証明書、成績証明書等の交付を希望する場合は、証明書自動発行機（創立 330 記念交流会館）により交付が受けられます。

12. 教員免許状の取得について

入学時に高等学校教諭一種免許状（工業もしくは理科）の取得要件を満たしている者は、本研究科所定の単位を取得し修了することにより、高等学校教諭専修免許状（工業もしくは理科）の授与の可能性がありますので、早めに教務委員もしくは教務・学生支援係に照会してください。

「工業」免許状取得の場合、「工業」の開講科目の中から 24 単位以上の取得が必要です。

また、「理科」免許状取得の場合、「理科」の開講科目の中から24単位以上の取得が必要です。開講科目は次頁以降を参照してください。

なお、「工業」の一種免許状から「理科」の専修免許状を、また「理科」の一種免許状から「工業」の専修免許状を取得することはできません。あくまで、一種免許状と専修免許状の教科は同じものでなければならないことに留意してください。

宮崎県教育委員会への免許状申請手続きについては、10月上旬に掲示をもって通知しますので注意してください。

科目は変更になる場合があるので工学部教務・学生支援係事務室前の掲示板を確認すること。

「工業」及び「理科」の開講科目表

工 業		理 科	
開講科目	単位数	開講科目	単位数
ものづくりのための設計システム特論	2	有機合成化学	2
海岸環境工学特論	2	環境分析化学	2
水環境工学	2	光触媒化学	2
最終処分場設計論	2	生物環境化学	2
コンクリート工学特論	2	光機能化学	2
交通地盤工学	2	光化学反応論	2
光エネルギー応用工学	2	反応操作特論	2
半導体評価技術	2	高分子材料化学	2
光通信システム	2	材料化学特論	2
アナログ集積回路	2	反応設計技術論	2
電離気体工学	2	固体物理学	2
画像処理論	2	薄膜結晶成長工学	2
数値電磁界解析	2	光エレクトロニクス材料工学	2
材料力学特論	2	光センシング工学	2
熱力学特論	2	半導体物性特論	2
機械加工学特論	2	再生可能エネルギー論	2
機械振動学特論	2	光量子工学特論	2
流体力学特論	2	高エネルギー天文学	2
機能材料物性論	2	宇宙物理学特論	2
無機材料化学特論	2	原子過程	2
自律移動システム	2	ハドロン物理学	2
ロボット工学特論	2	原子核物理学	2
制御と回路の理論	2	自然界における固有値問題	2
データ解析特論	2	物理的現象の数理解析	2
オートマトン・言語理論・計算論特論	2	数理生物学特論	2
並列処理と機械学習特論	2	非線形科学概論	2
情報ネットワーク特論	2	量子イメージング技術	2
ソフトウェア工学特論	2	理論・計算化学特論	2
オペレーションズ・リサーチ特論	2	バイオベース材料化学特論	2
数理脳科学	2	時空間ダイナミクスの数理	2
		分離機能化学とケモインフォマティクス	2

生体情報工学特論	2	先端情報半導体デバイス特論	2
知識情報処理特論	2	サーモインフオマティクス特論	2
コンピュータビジョン特論	2		
デジタル通信工学特論	2		
流域圏生態工学	2		
交通情報工学特論	2		
デジタルバイオメカニクス	2		
材料データ科学特論	2		
デジタル信号処理論	2		
知能センシングシステム	2		
計 40 科目	80	計 33 科目	66